

バストス週報

第1124号
昭和四十六年十一月二十二日
毎週月曜日出行
Director Koiti Mori
Redator Shion Oda
Rua Pres. Vargas 188
C. Post. 112
Fone 40 BASTOS C. P.
Annual Cr. # 20.00 Adian

乱雲 47

日本語勉強の再検討

○バストスに於ける日本語(学校)は、とある曲り角にさしかかっている形であったように思う。これは世話人、教師、父兄の共同責任といつてもいいと思われ、何が、何もそれを追及するわけではない。バストスの場合、日本語教育に限り、他の都市のそれと比較して、発定の順序からいっても最も立ちおくれしていた観がある。それは、バストスが余りに特殊地帯で、市の行政機構から商工業から農業方面にひろがる経済力が殆ど日系人が把握し、ひよつとすると、日本の延長かと錯覚を起すこともあり得る色彩をもつていゝからであるが、伯国人から見れば、憶面もなく日本語で喋っている日系人を見ると、何となく目ざわりになることもあろうであらう。

あんなに日本語が横行しているのは、日本学校でじゃんじゃん日本語を教えるは、児童教育に支障があるという観念を伯人教育者が持ったとしても不思議ではない。ほんとうはその逆で、子弟がまるで日本語が喋れぬ実情だから、せめて低学年時代、いろはでも教えるべきだ、という親の杞憂から、日本語を学ばしめているのである。

○もうバストスでは満足に日本語を喋り、読み書きするのは年配の高い人達だけになってしまふ。特に日本語の必要性を感じなくなつた家庭が漸次多くなりつつある。この姿を見て世話人は、バストスの父兄は熱がないと嘆くのである。

日本語設置に踏み切つたのも文協の幹旅ではあつたが、実際世話に当つたのは普及会という学務部とも関係があるような、ないような特殊なセッソンであつた。日本普の世話人は、文協の部門の中へ包含されることを希望しているにかかわらず、常につかず触れぬの態度で、年々補助金を支給しているが、経営指導には一切タッチせず、あたりさわりの無い態度を保持していた。これには公長の方針によるところもあるが、各區長をまとめていく上には重荷の品のない方が楽であり、こつこつと観方は筆者の主観で、これ以上日文協の方針に立ち入ることは出来ない。○日本語校発足までには熱心にその設置を説いては見たが、実際開設してみると、

MAGVETTI LTDA

Agente exclusivo sobre as praças de Bastos e Região em toda a linha OLIVETTI
Técnicos Especializados para assistência permanente
Rua Caetés, 679 - Fone 2524 - Tupã
-OLIVETTI-
バストス及び全線オリベツツテ 代理店

オリヴェツツチ印 タイプライタと計算機

特別技術により 将来長くお世話いたします

バストス代理店 SUPER GAZ (スペルガス配給所) BRAS

Rua Ademar de Barros 7/n

わかもと製薬株式会社



錠剤

わかもと

胃腸と栄養
衰弱の恢復に
ガンの予防に
消化不良に
綜合V・B酵素栄養剤
健康の保持に



年末年始の
ブレゼントには
ゼム わかもと
化粧品
わかクリーム
わかセッケン
わか香水

死亡通知並に会葬御禮

母(シヅヨ)儀長らく療養の処養生叶わず去る十一月十日午後
三時遂に永眠致しました。依つて翌十一日午後三時自宅出棺、
バストス墓地に埋葬仕りました。

此の儀生前御厚誼を賜わりました尊知各位へ謹んでお知らせ申
上げます。尚故人病臥中幾度となく御見舞をいただき誠に有難
う御座居ました。

又葬儀に際しましては御多忙中にもかかわらず酷暑の遠路を態
々御会葬下され、且又御丁重にも過分の御香料並びに御花環等
御恵供にあずかり裡心より御礼申上げます。

一々御回礼に参上致すべき処取込中甚だ勝手乍ら略儀紙上にて
御礼の御挨拶申上げます。

一九七一年十一月十五日

喪主長男 松 浦 茂

妻 節

次男 明 子 要

妻 明 子

長女 秋 知 み さ を

夫 秋 知 文 吾

次女 高 橋 マ リ 工

夫 高 橋 武 信

孫 一 同

親戚 中 沢 源 一 郎

吉岡 フランシスコ

バストス南米本願寺 様

バストス仏教婦人会 様

ウニオソ 一 区 様

バストス老人倶楽部 様

南伯農組バストス単協 様

バストス州立中学七〇年卒業生同 様

御会葬各位 様

懸って此の後の問題である。バストスにも、日本語の片言も喋れない子供もある。これは自慢にならない。せめて、よそのおちさんに道を教えて上げる位の日本語は覚えてほしい。まずここからはじめよう。

○経済日本はドルショックを跳ねかえして、ますます世界的になりつつある。英語にとつてかわるものは将来は日本語であるという。一種のうぬぼれかも知れぬが、事態はそこへ向って歩みつつある。吾々は日本語の重要性を再認識しようではないか。

系音

南伯三州の観光記 2

真木 諭 吉

寄稿

尾戸総領事殿が現われたので、山中三郎氏が松原市長のメッセージを渡し、バストスの近況などを言上した。

其の間、領事は満面に笑みを含み、肯綮を語った。山中氏が話し終って、領事のこれまでの経歴を御伺いすると、戦前からの履歴を簡単に話された。統いて、隠蔽重祿老がバストスの自慢話を一席御披露に及び、グラナナやジュースやお冷を戴いてお暇したのであるが、その間領事殿の表情態度は実に柔和で、好々爺を思わせた。又服装も立派であつて、好感が持てたのであるが、帰省して新聞を見ると、あの意外な批難記事に驚かされた次第である。

同市の市長へも松原市長のメッセージを持って訪問したのであるが、相憎御不在で御面接出来なかつた。それから販売所の従業員の案内で動物園を見学に行き、近くの町で昼食をして、午後は市の後方にある展望台と山頂に登り、市街や近郊を展望し、午後五時頃から市の前方にあるブラジル最大のラゴア・ドス・バアトスに行き、観光船に乗り、ラゴアの中の小島を一廻りしたのであるが、此の観光船たるや、お粗末なしろもので、速度に至つては実に悠々たるもので、波も立たず静かに静に徐行するのである。

其の夜は同市宿泊、十九日は午前几時

冷蔵庫 修理
洗濯機 いたします
ドッキデ カシマス 五五四番
マウ □
タイヤ 修理
ネストール
(同所)
御用命を御待ち致します。

半まで買物をなし、十時出発、午後四時頃サンタ、カタリーナのトレイス、ラゴア着、海岸に出て大西洋の荒海を眺め、久しぶりに潮の香を嗅ぎ、潮風に吹かれていると、瀬戸内海の島に生れて島で育ち、四十年間潮の香を嗅がぬ日とては一日もなかつた昔の事が次々と思ひ浮ぶのであつた。

此処は昔の軍港であつたので、博物館には色々な古物があるというので行つて見る幸にした。館はお粗末な小さなものであつたが、元込の大砲身、丸い鉛の弾丸、日本に初めて種が島に待わつた火縄時代の小銃、銃刀の様なサアベル、原始時代にインジヨの使つた色々な石器などから弓矢など、種々様々な古物が陳列してあり、非常に参考になつた。その夜はアララングワで宿泊、翌二十日早朝出発クリチアマという所に石炭の出る所があるというので、舗装してないホエラの道を三十キロも入つて行つたのであるが坑内へは絶対入れないので、只送別所へカミニオンで石炭を運んで来たリ、積み出したりして見るのを見たのみで引き返した。

十二時頃サンタカタリーナのキマピタルであるフロリアノポリスに着いた。此所は大陸から百メートル程離れた島で橋が架かつて渡れる様になつていたり、ビルも少しはあるが、地形も悪く、ルアも狭い町である。大西洋岸に出ると、そこには大きな新築の立派なホテルがあつた。そこで遅い昼食を済ませ、市街に引返し町を廻り、裏側の海岸に出て大西洋から来る涼しい風に吹かれ乍ら一休みして、島の中央部にある砂漠と言えは少し大袈裟になるが、一寸とした砂丘があるのを見に行く事にした。

東南の風が強いので半数位の人々は登つた。直の上は強風が砂を吹き捲いて居るので、風に向つては目を閉じて居られたい。尚夕方になつたので、寒むなり、長

死亡通知並に会葬御禮

父、緒方時夫(56才)儀かねて病氣静養中の凶薬石の効なく去る十一月十一日午後十一時四十分永眠いたしました。よって翌十二日午後五時半自宅出棺バストス墓地に埋葬いたしました。此の段生前辱知各位に謹告申し上げます。

尚病氣中御見舞を賜わりま方々にあつく御礼申し上げます。

追って葬儀の節は御多用中遠路わざわざ御会葬下され、其の上御鄭重な御香料並に花輪など御贈与下され誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

尚一々御回礼申上げねばなりません、取込中につき御寛恕願ひ紙上を以て御礼申上げます。

一九七一年十一月十二日

ブラ	拓製糸株式会社	様
バス	ト山口果人会	様
バス	トス南米本願寺	様
バス	トス仏教婦人会	様
バス	トス中央第一区	様
サン	ビエー中学テクニク組	様
州立	コレジョー年D組	様
プロ	グレンソ区	様
狩屋	御兄弟	様
ハスト	ス連合仏教婦人会	様
御会	葬各位	様

長男	緒方	一
次男	田村	一
長女	弘義	一
次女	光つ	一
夫	横山	一
次女	か	一
三女	あ	一
四女	ひ	一
五女	そ	一
六女	ま	一
七女	き	一
親戚代表	藤林	一
父	黒川	一
友人	阪東	一

葬儀に当りブラ拓製糸会社、コチアアバテドールより
 自動車の御便宜御計い下さじました。厚く御礼申上げ
 ます。

御見舞御禮

皆々様時下愈々御清栄の段何よりとお慶び申上げます。陣者、荊妻むら病気の節は御丁寧なる御見舞を戴き有難く厚く御礼を申上げます。お蔭様で最早病前と少しも変わぬ元気を回復致しましたから何卒御安心下さる様お願申上げます。実はいちいち拝趨の上、御厚志に御酬い致す筈で御座いましたが、時節柄年末を控えたイタケイラの子供の園と、渡辺マルガリータ夫人の救済会に、全快祝の寸志を寄附させて頂く事に致しましたから、此の段御了承頂く様御願申上げます。

バストス、グロリア区
水馬 久

各位様

金一封也 御禮

御尊父時夫様の御養儀に際し香奠返しとして当寺に御贈下さいました、厚く御礼申上げます。

緒方弘一様
バストス南米本願寺

金一封也 御禮

故坊方時夫様御逝去の御香奠返しの意味で当会に御寄附下さい、誠にありがとうございます。

緒方弘一様
バストス仏教婦人会

御禮

金一封也

殿父緒方時夫様の御死去に際し香奠返しとして金一封御寄贈にあずかり、有難く拝受いたしました。

緒方弘一様
バストス山口県人会

御禮

金一封也

故松浦シズミ様の香奠返の代りとして御寄進下さい、厚く拝受いたしました。

松浦 久様
バストス南米本願寺

銃暴発

十一月十三日、コチア村高橋パウロ(二十とオ)玉子を荒しにくる悪犬を鉄砲一発で撃つと、一発ぶつ放したところ、前方に飛び出す筈の弾丸が後方に薬莖ぐるみ跳出し、パウロ君の前額部に命中即死した。弾丸は手製でローレマンの玉が詰めてあったという。どういいう間違いであろうか、銃を扱う人はよくよく注意されたい。

経営の偉才、市村清

別府正大 26

秘書の連絡をきいた藤原さんは、急ぎ輝社されたが、大変に恐縮されたことであつた。そして、あの例のむずかしく難行していた商談も、その場でOKということになつた。まああの二時間の眠りが幸いしたとは、果報は寝て待てとはこのことであつた。攻守は逆転して、市村さんのあざやかな逆転勝であつた。まことに人生の妙味つきなれであらう。

○よし、俺の胸をかしてやろう。さこ、藤原さんの命をうけた王子の江戸川五場長の北村さんは、さっそく試験紙の製造にとりかかつた。市村さんも、いろいろとアイデアを提供し協力して、二カ月後には新製局ができ上つた。試験の結果は上々であつた。三菱のよりもよくて、値段もポンド十二銭五厘で、二銭ほど安い。これは大きなコストダウンである。ウオーターマーク(すかし)を入れ、大量注文して売り出したところ、得意先きでも好評であつた。よし、これはいけるぞ！、まさに幸運のすべり出しであつた。

ところがである。この大量生産の中に不良紙が発見されたのである。調べてみると、それは王子側のミスからであつた。理研側が百万ポンドを注文したのに対し、どうせ量産だからついでに渡しておこつたというので、王子側では五百万ポンドを一度に渡してしまつたというのである。そのため現像すると斑点が出る不良紙がでましまつたのである。量が多いだけだけに、これは大変なことになつてしまつた。もちろん責任は江戸川工場長の北村さんにあつた。

北村さんははじめで温厚な人柄だけに、悩みに悩んだ。そして、ある夜、しよげかえって市村さんの家を訪ねていつた。「まったくとんだ」といふことになつてしまつた。不良紙を作つたことは、なんとも私の責任で、身から出たサビですから覚

RAÇÃO SOCIAL

ラッソン ソシール

- カサダラッソンは、ソシール製品を取次販売開始して以来、養鶏家の皆様に益々好評を得て居ります。
- ソシール製品は、長らく研究の結果、ブラジルに於ける商業鶏の栄養要求量をみたすよう配合設計されたものであります。
 - 私共の製品に対する需要に應ずるため、サンパウロ、リオデジャネーロ、ベロオリゾンテ、ポルト、アレグレ、フォルタレーザ、デスカルバードに工場を持って居ります。
 - さらに、ジャグラーに鶏卵販売部門をもち、肉用鶏については、契約生産を実施しております。
 - ソシール社の技術指導は、永年の経験により、卵や肉の経済的に生産出来るのを、養鶏家の好評を得て居ります。
 - さらに国内で最も完備した生化学実験室を持ち、製品を市場に出す前に検査をしております。
 - 初生雛用飼料はコンセントラード スタルチールと呼び 初日より 22 日まで。
 - 中雛用飼料はコンセントラード ビンダイールと呼び 22日より 84 日まで。
 - 大雛用飼料は、コンセントラード フランゲイールと呼び 85日より 130 日まで。
 - 産卵鶏飼料はコンセントラード ホエシールと呼びます。
各自養鶏家がミールやフスマと混ぜるだけで、高産卵に必要なビタミンや微量元素がすべて配合されております。尚、ソシール会社は他の家畜用、牛馬、豚、羊、ウサギ、コドルナ等の飼料も販売して居ります。

CASA DA RAÇÃO LTDA
Rua Duque de Caxias 280
Fone : 342 C. Postal : 22

悟はしてはいます。しかし、実は私は王子の直系の者ではありません。ところが、こんな不良品を作った、これが売れなくなる、これは当然辞職ものでしょう。我身ひとりならどうなってもいいんですけど、家に子供が五人もある身です。どうしたらよいかと思いません。市村社長、なんとかお聞きください。市村社長、北村工場長の詩をきいて、どうして人情家の市村さんはすっきり同情してしまった。市村さんは養につよく、血も涙もあるサムライである。

「よし、この新米社長でも、頼って来るなら、いさぎよく俺の胸をかしてやらせ。なんとか使いな道を考えることにして、残りの四百万ボソドの金を、すっかり引き取ってやることにした。」

さて納入先きの海軍工廠や、関東軍司令部からは、さっそく注文が来たが、市村さんは一生懸命に陳謝して回った。しかし、この一件で、大河内所長に呼び出されてさんざんに叱られたことであつた。

さて、当時の日本の時局は、微妙に風をばらみながら進展していった。だが、やがて重大な転機を迎えることになったのである。その年の昭和十二年七月、日支事変が勃発したのである。

以下次号へ

御 案 内
十二月二十二日 午後一時から

御 礼

金一封 藤川みえ様
金一封 吉村安光様
金一封 松浦茂様
金一封 緒方弘一様

右皆々様、此の度の貴御法縁を特別に御香儀納めていただいたいて厚く御披露申上げます。

十一月十五日
バストス南米本願寺

右勤修致しますから、有無縁の皆々様御多用中乍らお繰り合わせて御参詣下さいます様御案内申上げます。

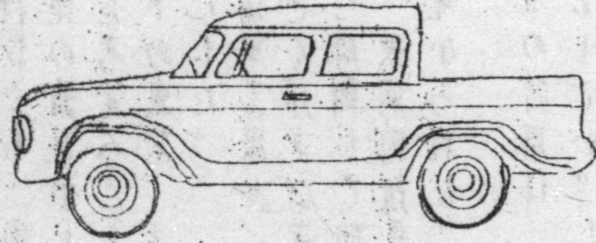
皆々様
バストス南米本願寺

COMERCIAL Autopolis S.A.

Fone: 1213-1289 C. Postal: 45, Martinopolis.-S.P.

Gerente Antonio Furnier
Vendedor Jiro Shiguihara Bastos

CHEVOROLET



バストスの皆様へおしらせ

クルマのお求めなら是非

『シエラ』に

おきめください。

カミニオン。オートモーウェール

新型いろいろございます

あなたの車をしたに入れて

ノーボをお使い下さい

バストス代理人

鳴原次郎

マルチノホリス市

株式会社アウトホリス

AVISO

Prefeitura Municipal de Bastos

告示

連邦税務局は、渡辺行則君を介して、十二月二十日より、正后から午後六時まで左記の件について懇切に説明致して居りますから、御希望のお方は、元の市役所、現市会議事堂までお出で下さい。

A 所得税について

参照説明

B 約束手形及び

為替手形の

登記について

バストス市役所

日語普及会の

御しらせ

十三歳以下は（八時—十時まで）

元 牛尼氏の住宅

生長の家教会の下隣り

○主として、しつけと会話

十四歳以上 一時— 五時

夜 八時— 十時

総合会館に於て

月謝は従前通り（五コントス）

バストス日語普及会

責任教師 阿部新蔵

核実験は

地下ならやっつてよいか

アメリカは、去る十一月六日午後五時アリゾナ州シマン郡島のアマチトカ島で五メガトンの核実験をやったことだが、懸念されたような地震も津波も起らなかった。日本やカナダ、その他の国々が核実験に反対して抗議を申入れたが、第三者の反対は一切押し切ってしまった。おれの領土内でやるのが何故わるい、とすぐんで見せたのだろうか、実験には慎重を期し、灰が洩れたりしないように、嚴重な用意はしていたのであろう。

現在、原水爆をもっている国は、米、露、中と次第に多くなつたが、今から数年前にはどの国も野放しで、海鳥や砂漠で平気で爆発させたもので、灰塵は沖天に舞い上り、空気や水を汚染させたものである。

その結果魚類まで汚染され、食用にならなかつた事もある。ビキニート附近を航海中のマグロ船は死の灰をかぶり、その灰を紙に包んで枕の下へ入れておいたら、髪が抜け、遂に死んだということもあつた。

沖天に舞い上つた灰塵は雨にまじつて降下もするが、成層圏まで散れ込んでしまつて消えてなくなつてしまふのではないぞうだ。日本のように雨の多い国では、相当地表に降つてくるので特に被害を蒙るのである。直接がうだに当らなくとも、野菜、果物などは根から水を吸ひ上げ、人間がそれを食べると、たとえそれが僅かづつでも、体内に蓄積されるので、被害があるわけである。

○世論がやかましくなつたので、地上では、さすがにやりにくく、灰の洩れないうな施設をして、その中で実験することをアメリカがやり出したのである。野天でやるよりはましであるが、地下でならやつてもよいのであろうか。やつてはいけないという国際公法もないので、やめさせることは出来ないだろう。法律はなくとも、現に恐ろしい大きな被害はあるのだから徳義心があるなら、これからやめろべきである。

アマチトカの地下実験が實際無害であるかどうかは、今後長い目で見なければ、判らぬことだが、無害だと断ずる断にはいくまい。では、何故世の批准を浴びてまでも核実験をせねばならぬのだろうか。それは次のように説明されている。

「ソ連には大陸間弾道弾があつて、しごとという時は、ソ連国内からぶつ放すことが出来る。その弾道弾には核が装備してあるので、それで攻撃されては、忽ちお手上げだ。アメリカには、それに比較する弾道弾はないが、その弾道弾を途中で迎え撃ち、ソ連の弾道弾を骨抜きにするロケットがある。しかし、ソ連は最近、装備の核を一層強力なものにしたので、アメリカもその上を行く破壊力の強い迎撃弾の必要を生じ、

そのため新式の核実験を必要としたのだということである。

そうすれば、ソ連は又、その上を行く弾道弾を開発するだろうし、中国でも、今より強力な原水爆を必要として開発するだろう。どうすれば又々相互の尖り維持上核実験をくり返し、いつまでもいだちごっこをくり返すだろう。実際には使えもしない原水爆を貯えて、どうする気だろう。相手方に対する示威としてなう、無駄なことをするものだ。米 音

御 札

金 一 封
御出度シヌエ孫御進退の際香返しとして御奇封にあすかりました。厚く御禮申上げます。
松 浦 茂 様
ウニオソ一区

おねがい

新年祝賀広書を御申込み下さい
週 報 社

おねがい

七一年度誌代を御交松下さるよう御願ひ致します
週 報 社

おしらせ

私儀このたびサンパウロ医科大学に於てパトリシア(病理学)の研究のため、暫くバストス病院を休むことになりました。

あとには、大野悟郎先生が居られましたから、私の看てあげて居りました患者さんも、大野先生が引と受けて下さいますので御諒解下さい
十一月廿日

家族の者し世誌になつたことを念
御して居ります

DR. パウロ 曲 淵
並に 家 族 一 同

各 位

CRUZAUTO

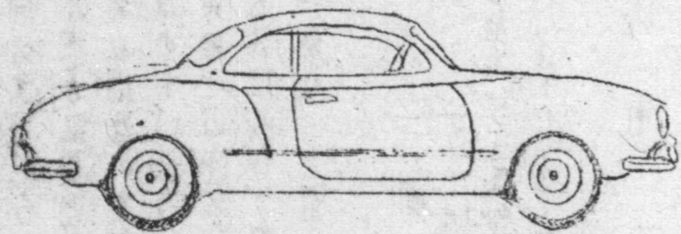


Oswaldo Cruz Automovis LTDA

クルザウト オスワルドクルス自動車有限会社

Rua Senador Salgado Filho 156

C. Postal: 156 - Fone: 1.368 - 1.481 Oswaldo Cruz S. P.



銀行融資販売又は中古車と新車の交換も致します

販売人 ミルトン オリベラー氏 又は、

バストス週報社で御問合せ下さい

常に完備したオフィスと優秀なメカニコで

皆様の車に最大の注意を怠りません。

ウオクスワーゲン車は世界中の
人々から愛用されている
最も信用ある高級車です

Aviso de Cine Bastos

十一月二十三日(火) 二十四日(水) 両夜とも八時
東宝 駅前番頭 森繁久弥 伴淳三郎 大空真弓 三木のり平
天然色 フランキ界 淡島千景 池内淳子 中村メイ子
女中に芸者にフラダンスサーン手もみ足もみ気をもんで……ウエルカムカム箱根山ノ

十一月二十六日(金) 八時 二十七日(土) 九時半

大映 講道館の鷲 本御功次郎 成健三郎
総天 高田美和 舟木洋一 石黒達也
然色 山下洵一郎 田村決美子
(花の講道館)

(監督の言葉) 花の講道館に続き、今度は時代劇的な面白さをふんだんに盛り込んで破乱に富んだ映画にしたい。
三四郎と剛造の対決にアットというふうな新手を考えているノ

十一月二十八日(日) 九時半 二十九日(月) 八時

松竹 逆転旅行 フランキ界 森田健作 佐藤友美 みま三蝶々
天然色 倍賞千恵子 早瀬久美 伴淳三郎 都はるみ

松竹名物旅シリ文第三弾、東北地方爽快口ケイン笑ラスビトお座敷特急歌う手拍子笑いもはずむ総れて浮れて大混乱ノ
十一月三十日(火) 十二月一日(水) 両夜とも八時

未決定

十二月三日(金) 八時 四日(土) 九時半
南米 川口浩 見明凡太郎 叶 順子
東宝 川上康子 小野道子 根 上淳
配給 船越英二 八潮悠子 京マチ子
大型 品川隆二 徳高のり子 若尾文子
監督 田中繁男 製作 永田正一 脚色 笠原良三 鶴田浩二 野添ひとみ 菅原謙二

日本演劇は義理人情親子の愛情夫婦の愛情の極地を画くことにより基礎を築いた。(この映画は真の日本演劇といえよう) 母物映画日本の三益愛子が母物映画三十本を記念して打立てた金字塔ノ父親と意見の合わない息子三益三に夫に代わって注ぐ母の愛情、ひたむきに夫と子供のために献身的母の愛、

死亡通知並に会葬御礼

三男高橋三四治(三十七才)儀十一月十二日午前九時頃不時の事故にてバストス病院に入院いたしました。が手当の効なく同日午後四時四十分昇天致し翌十三日午後四時自宅出棺バストス墓地に埋葬仕りました。此の生前御交誼を賜わりました方々に謹んで御知らせ申し上げます。尚葬儀に際しましては御多忙中にも拘わらず遠路態々御会葬下され其上過分なる御香料御供花を賜わり厚く御礼申し上げます。実は一々参考の上御礼申上げるのが本意ですが何分取込中にて其の意を得ず失礼乍ら紙上を以て厚く御礼申し上げます。

一九七一年十一月十四日 コチア村

喪主 父 高橋 清五郎
 母 〃 〃 〃 〃
 長男 高橋 瑞清
 妻 〃 〃 〃 〃
 次男 高橋 千代
 妻 〃 〃 〃 〃
 三女 高橋 志子
 四男 高橋 マリ
 四女 〃 〃 〃 〃
 親戚 生井 沢 定 治
 菊地 拓 巳

コチア村 御一同様
 コチア聖西農協バストス倉庫様
 バストス南米本願寺様
 バストス仏教婦人会様
 バストス連合仏教会様
 バストス婦人会様
 生長の家相白青会様
 サンジョセ夜間中学三年生様
 州立中学四年生B組様
 コチア組合アバテドール様
 武田重三郎様
 バストス御在任皆様様